

学校評価ワンランクアッププロジェクト 取組の実際

学校評価4点セットに係る学校改善の取り組み
時系列で表してみました。

観点	月	日	担当	取組内容
観点 3	6月	22	運営委員会 研究主任	学力ワンランクアップの取組みについての共通理解 運営委員会 → 職員会議 すべての教職員に共有されるようミドルアップ機能（研究主任が自らの取組と理解して分掌のメンバーに伝え）を生かして周知した。
		28	校長 教頭	PTA評議員会で保護者に学力ワンランクアップの説明、協力の呼びかけ。
観点 2	7月	5	運営委員会	1学期の取組みについて客観的な指標を集め、その指標をもとに、分析することの徹底をした。 取組指標を「誰が何をどのくらいの頻度で」を見直し、重点目標に近づくよう設定するよう確認した。
		6	各職員	教職員自己評価・保護者アンケート・生徒アンケートの実施。
		12	各職員	各種アンケートの集約をする。
		13	運営委員会	学校評価ワンランクアッププロジェクトの確認
		14	職員会議	学校評価ワンランクアッププロジェクトの周知・徹底
		31	運営委員会 教務主任	教務主任が集約物を確認し、整理する。
観点 5	8月	3	運営委員会	・教務主任が集約した結果を元にこれからの方向性を運営委員会で確認する。 ・分掌会議の進め方について 分掌会議で個人個人の目標管理シートと学校評価4点セットでの自分の役割について分掌リーダーから確認するようにした。
観点 3		6	分掌会議 分掌リーダー	分掌会議 各種アンケート結果をもとに個人個人の取組の振り返りをする。 分掌会議でデータの分析をするとともに、分掌リーダーのアドバイスを元に個人の1学期の振り返りをする。
観点 6		20	運営委員会 分掌リーダー	運営委員会で分掌会議の報告をする。 分掌リーダーが自分の部会の進捗状況・部員の役割を把握して検証・改善に向かうよう確認した。
観点 4		24	運営委員会 研究主任	各種アンケートの結果の把握と分析 大分県学習定着状況調査の結果を分析し、取組に反映させる。 各種アンケートの結果からどの部分が改善されていないのか、どの方向に向かえばよいのかを確認した。
観点 5			運営委員会 教務主任	目標管理シートの分掌会議での扱いについての確認。 目標管理シートは教頭を経由してデータとして提出すること。個人の目標が分掌とリンクすることを運営委員会で確認した。
観点 5		23 ～	各職員	教職員評価システム 目標管理 面談Ⅱの個別面談の実施(校長・教頭ともに) 分掌会議での自分の役割について校長・教頭で面談を行い、確認した。教頭は内容について事前に受け取り、指導ができる体制をとった。

観点 8		目標管理の面談Ⅱでは主任・分掌リーダーには主任の意義も含めて指導した。
観点 3	9月	7 各職員 始業式後、 2学期の職員会議にて2学期の取組の周知徹底。 教務主任から新しい学校評価4点セットが示され、取組指標からめざす重点目標の提示がなされ、周知徹底された。
	10月	5 知の部会より 研究主任 学力ワンランクアップVer2 保護者チェックシートの改善。 分掌リーダーが分掌部員に説明し、新たな学力ワンランクアップVer2の取り組みを提案した。
		6 職員会議 後期生徒会活動とタイアップした学校評価4点セットの取組。
観点 3		12 職員会議 校内研究授業に係る指導案審議と新大分スタンダードの徹底 校内研究での指導案では本校のめざす授業の指導案形式を確認し、新大分スタンダードに沿った審議が行われた。
	11月	8 校内研究会 授業改善・指導主事招聘 新大分スタンダードの徹底(互見授業・授業観察の強化)
観点 7		30 分掌会議 2学期の取組の見直しの準備 各種データの整備ができるよう、あらかじめ手法を確認しながら取り組むことを確認する。
	12月	12 職員会議 各種アンケート・Q-U調査の実施に向けて 22 教務主任 教務主任が集約物を確認し、整理する。
観点 1		26 運営委員会 3学期の取組についておよび来年度を見通した取組の徹底について 来年度の学校評価4点セットについてはワークショップ形式で行うことの確 本校がめざす生徒の育成をどのように図るかを現状と照らし合わせながら全員の意見を吸い上げる形で取り組む。